



2017 年 12 月 吉日

森と海の自然科 活動案内 「川と街道を訪ねてーNo.8」

伏見港、新高瀬川、濠川、宇治川派流と酒蔵探訪

「川と街道を訪ねてーNO.8」は、宇治川中流、伏見の濠川、新高瀬川、伏見港公園、三栖閘門、同資料館、を訪ね、酒蔵（月桂冠大倉記念館）、御香水の御香宮神社を見学します。 <里川担当G>

文禄 3 年（1594）豊臣秀吉は伏見城を建設、宇治川と巨椋池を分離、城の南に宇治川、西に外堀として濠川、合流点に伏見港を建設。

江戸時代に角倉了以が高瀬川を掘削、伏見から京都へ物資輸送、江戸時代後期には伏見は人口 4 万人の内陸港湾都市として栄えた。天保年間（1830～1849）には旅籠 42 軒を数えた。

明治 10 年（1877）神戸～京都間に鉄道開通、明治中期の琵琶湖疎水開通で日本海側からと大阪からの物資が流通し一時活気を取り戻したが、次第に港湾機能衰退。

昭和 38 年（1963）泊地埋め立て伏見港公園に。

- 1：日 時 平成 30 年 1 月 25 日（木） 10 時
2：集合場所 京阪中書島駅（北側改札口） 雨天決行
3：持ち物 飲み物、雨具、双眼鏡（野鳥） 等

- 4：目的地 伏見港公園、新高瀬川河口、三栖閘門、同資料館、濠川河口、宇治川派流河口、白菊水、鳥せい本店、月桂冠大倉記念館、西岸寺（油懸地藏）、御香宮（御香水）

- 5：行 程 約 6 km （伏見桃山城散策をすると約 9 km）

京阪中書島駅 10 時スタート

- ⇒ 1 (0.5 km) 伏見港公園（みなと広場） 10：10
⇒ 2 (0.7 km) 新高瀬川河口見学 10：30
⇒ 3 (0.5 km) 三栖閘門・三栖閘門資料館 見学 10：40～11：00.
⇒ 4 (0.1 km) 濠川河口見学 11：10
（宇治川堤防散策、水鳥観察、対岸は旧巨椋池干拓地）
⇒ 5 (0.9 km) 近鉄京都線鉄橋（トラス橋） 11：30
⇒ 6 (0.2 km) 宇治川派流河口（水鳥観察） 11：40
⇒ 7 (0.6 km) 宇治川派流沿いに弁天橋へ 11：50
⇒ 8 (0.4 km) 酒蔵街を経て白菊水 鳥せい本店 12：00
昼食（とりめし定食 750 円予約済み 個人負担） 12：10～12：40
⇒ 9 (0.2 km) 月桂冠大倉記念館 酒蔵見学（入場 300 円 森海科補助） 12：50～14：00
⇒ 10 (0.2 km) （弁天橋経由）長建寺（弁財天） 14：10
⇒ 11 (0.3 km) 寺田屋 14：30
⇒ 12 (0.2 km) 西岸寺（油懸地藏） 14：50
⇒ 13 (0.3 km) 東本願寺伏見別院（会津藩駐屯地） 15：00
⇒ 14 (0.7 km) 御香宮神社（御香水） 15：20
解散（京阪伏見桃山駅または近鉄桃山御陵前駅へ 0.3 km 15：30）

希望者（歩き足りない人）は伏見桃山城、桃山御陵等へ散歩

- ⇒ 15 (1.5 km) 伏見桃山城あるいは桃山御陵 16：00
⇒ 16 (1.3 km) 京阪丹波橋駅（または近鉄丹波橋駅） 16：30

以上

